

環境配慮型の原料中心に

大正紡績

大正紡績が使用する原料はオーガニックコットンや収穫時に枯葉剤を使用しない

手摘み綿など環境に配慮したものが中心だ。これらの原料に草木染めやハニ染めなど環境に優しい染色やホールガーメントなどによって付加価値を高めた商品展開を行っている。また、「棉花生産者の顔が見えないものは扱わない」(近藤健一取締役)という方針から、これらの原料はすべて生産者と深い関係を築いたうえで安定供給を受ける形になっている。

オーガニックコットンは年間400トンを展開する。これまで30、40番手が中心だったが、細番手を求める声が増えていることから

現在は80番手まで生産する。原料は米国、インド、トルコなどの生産者を取り組みながら安定供給を受け

ているが、今後はペルーやエジプトでも安定供給体制を構築する考え。また、オーガニックウールも豪州の羊毛生産者と取り組んでいる。また、希少価値が高いオーガニックコットンのほかの原料は、収穫時に枯葉剤を使用しない手摘み綿を主力としている。

手摘み綿の新商品としてマダガスカル綿花の本格展開を今年から新たに始める。展開用途はニット、カーペット、ジーンズ、チノパンなどで、展開番手は6〜40番手。ドライタッチで染色が良い点特徴で、柱商品の一つとする考えだ。